

行政課題シート（6）

行政課題テーマ	大阪重点犯罪被害防止活動
---------	--------------

実証プロジェクトの内容など

（現状・課題）

- 大阪重点犯罪とは、自動車関連犯罪、特殊詐欺、性犯罪をさす。
- 堺市基本計画 2025 において、大阪重点犯罪認知件数の KPI を 900 件以内としている。令和 6 年は目標を達成（895 件）しているが、令和 7 年は一転して 1,000 件を超えるペースで推移している。
- 大阪重点犯罪の約 6 割は、スーパーマーケット、コンビニ、公園等に一時的に駐輪している自転車のカゴ内から鞆等を盗まれる被害（車上ねらい）や自動車のナンバープレート、電動自転車のバッテリーを盗まれる被害（部品ねらい）等の自動車関連犯罪である。
- また高齢者を狙った特殊詐欺が急増しており、令和 6 年の年間被害件数は 273 件（速報値）と過去最多、被害金額も約 5 億 9,000 万円と過去最高額となっている。
- 性犯罪は 148 件（速報値）で令和 5 年と比べ 39 件増加した。
- 本市ではこれまで、KPI の達成に向けた主な取組として、チラシ等による啓発活動、防犯灯や防犯カメラの設置、ナンバープレートの盗難防止ねじ普及活動、固定電話自動録音機器の無償貸与、固定電話に取り付ける POP や啓発動画の作成等、被害防止のための対応を行っている。

＜参考資料＞

- ・堺市内の犯罪統計
<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/bohan/bohan/chiikianzen.html>
- ・【別紙 3】堺市の犯罪情勢

（求める提案の内容）

- ・啓発活動において、「自分ごと」と認識してもらう方法。
- ・安価で効果的な犯罪被害防止策。

（プロジェクトのイメージ例）

- ・特殊詐欺の被害が多い 65 歳以上とのタッチポイントの提案。
- ・車もしくは自転車の所有者とのタッチポイントの提案。
- ・また、その層に訴求するような啓発活動（情報発信・イベント等）の展開。

堺市の犯罪情勢

大阪重点犯罪と署指定犯罪

「大阪重点犯罪」と「署指定犯罪」を対象とした「地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止総合対策」について、検挙及び防犯の両面にわたる総合的な警察活動を戦略的に展開するとともに、自治体、事業者、地域住民等と連携・協働したオール大阪体制で犯罪の起きにくい安全なまちづくりを推進しています。

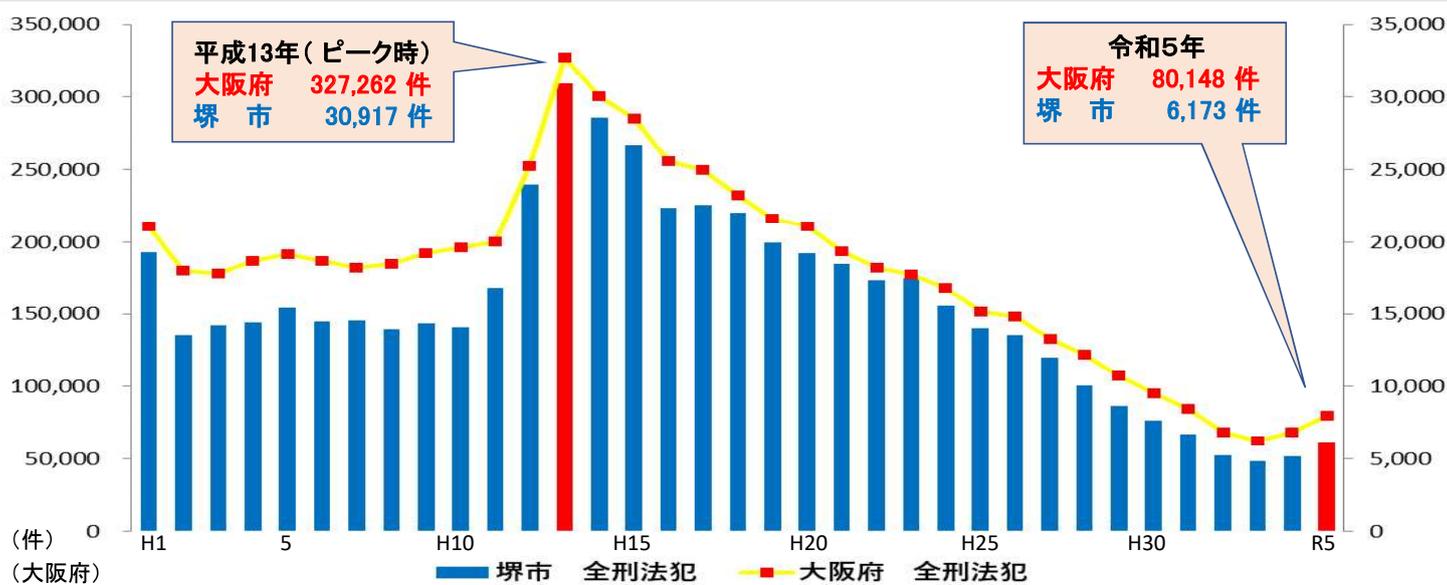
大阪重点犯罪

- 性犯罪
(不同意性交等・不同意わいせつ・公然わいせつ)
- 特殊詐欺
- 自動車関連犯罪
(自動車盗・車上ねらい・部品ねらい)

署指定犯罪

大阪重点犯罪以外で、警察署管内の発生状況から地域住民等の安全・安心を脅かし、課題等となっている犯罪のうちから、警察署長が指定する犯罪

刑法犯認知件数の推移（大阪府・堺市）



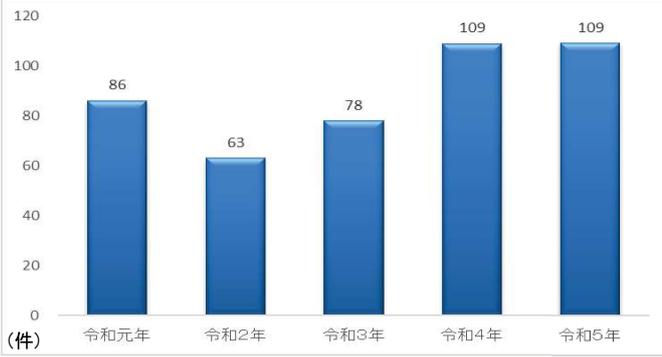
堺市における主な刑法犯認知件数

	全刑法犯	性犯罪	特殊詐欺	自動車関連犯罪		
				自動車盗	車上ねらい	部品ねらい
令和4年	5,194	109	115	94	358	237
令和5年	6,173	109	206	52	305	346
(対前年増減率)	+18.8%	±0%	+79.1%	-44.7%	-14.8%	+46.0%
府全体の件数	80,184	1,437	2,656	447	4,016	2,608
府全体に占める割合	7.7%	7.6%	7.8%	11.6%	7.6%	13.3%
令和5年5月末	2,605	39	95	26	139	193
令和6年5月末	2,439	59	105	21	92	99
(対前年増減率)	-6.4%	+51.3%	+10.5%	-19.2%	-33.8%	-48.7%
府全体の件数	32,182	588	1,085	174	1,258	1,027
府全体に占める割合	7.6%	10.0%	9.7%	12.1%	7.3%	9.6%

※ 令和6年5月末の数値は、速報値を示す。

堺市の性犯罪の情勢

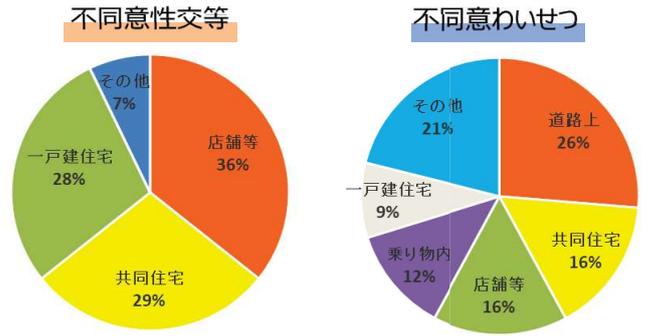
認知件数 推移(過去5年)



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
性犯罪	86	63	78	109	109

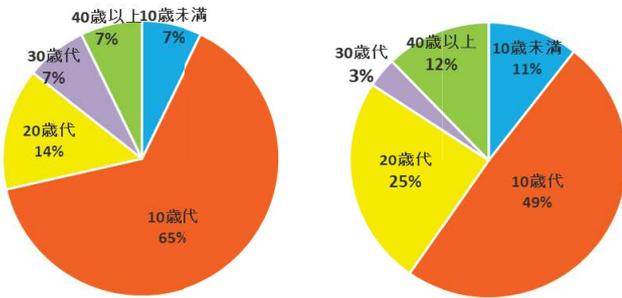
※ 性犯罪は、「不同意性交等、不同意わいせつ、公然わいせつ」の合計を表す。

【場所別】



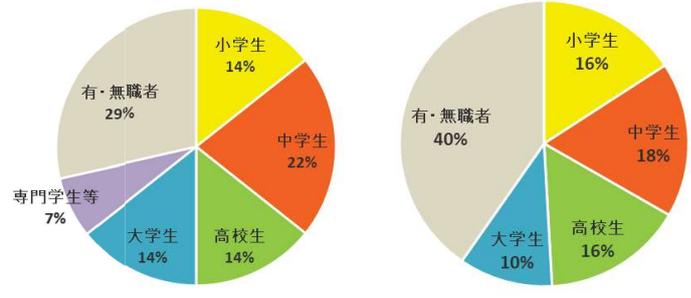
不同意性交等については、店舗等、マンション等の共同住宅で多く発生、不同意わいせつについては、道路上、店舗等、マンション等のエントランスやエレベーターホールで多く発生。

【年齢別】



不同意性交等の約79%、不同意わいせつ被害者の約82%が10歳代、20歳代を占めている。

【学職別】



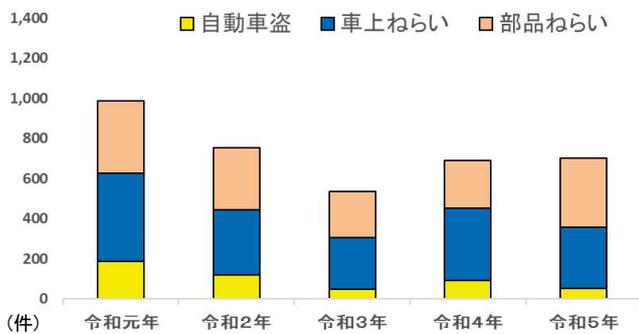
不同意性交等の約71%、不同意わいせつ被害者の約60%が学生の被害となっている。

【総評(令和5年中)】

- 性犯罪の総数は昨年と同数であるが高い値で推移している。
- 性犯罪(不同意性交等、不同意わいせつ)被害者は、10歳代が最も多く、学職別では中学生が最も多い。

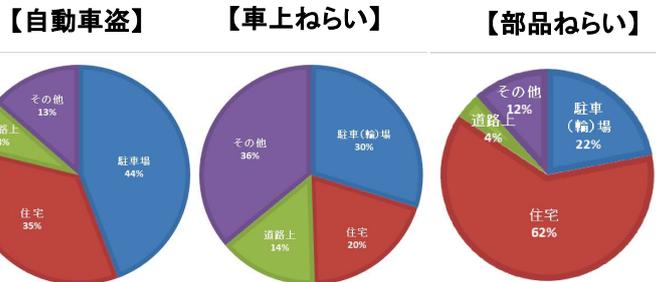
自動車関連犯罪の情勢

認知件数 推移(過去5年)



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
総数	987	754	535	689	703
自動車盗	186	118	49	94	52
車上ねらい	439	328	258	358	305
部品ねらい	362	308	228	237	346

被害場所別(令和5年中)



【総評(令和5年中)】

- 自動車盗の認知件数は52件、前年同期比42件(44.7%)減少
- 車上ねらいの認知件数は305件、前年同期比53件(14.8%)減少
- 部品ねらいの認知件数は346件、前年同期比109件(46.0%)増加
- 被害場所は、自動車盗の多くが月極や住宅の駐車場、車上ねらいでは、駐車(輪)場での被害が多く、部品ねらいは、駐車(輪)場や住宅敷地内での被害が多い。

堺市の特殊詐欺の情勢

堺市の被害状況推移(過去5年)

※ 被害金額は、千の位を四捨五入した額を示す。

		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
認知件数	堺市	122	89	98	115	206
	大阪府	1,809	1,107	1,538	2,064	2,656
被害金額	堺市	1億5,412万	2億4,079万	2億3,805万	1億7,480万	4億6,383万
	大阪府	25億1,847万	22億4,806万	24億1,441万	31億8,615万	36億6,140万



堺市各区の被害状況

※ 令和6年5月末の数値は速報値を示す。

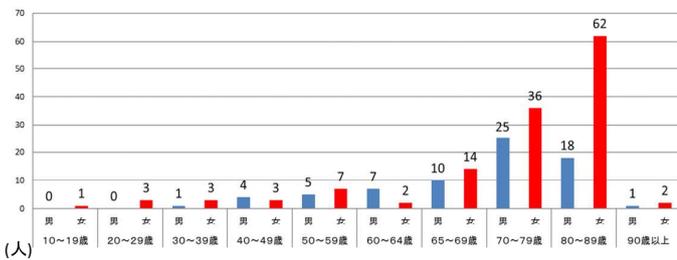
令和5年	認知件数	被害金額	前年	前年比(円)	令和6年5月末	認知件数	被害金額	前年	前年比(円)
堺市	206	4億6,383万	1億7,480万	+2億8,903万	堺市	105	2億6,292万	1億496万	+1億5,796万
堺区	42	1億66万	2,808万	+7,258万	堺区	32	1億5,104万	1,782万	+1億3,322万
北区	25	1億5,312万	2,282万	+1億3,030万	北区	8	434万	2,017万	-1,583万
西区	49	4,278万	5,596万	-1,318万	西区	15	1,196万	947万	+249万
中区	18	1,043万	2,693万	-1,650万	中区	18	1,137万	184万	+953万
南区	42	1億1,700万	2,018万	+9,682万	南区	13	5,187万	3,455万	+1,732万
東区	23	3,292万	586万	+2,706万	東区	12	2,764万	1,674万	+1,090万
美原区	7	692万	1,498万	-806万	美原区	7	472万	437万	+35万

手口別被害状況(1~5月)

※ 令和6年5月末の数値は速報値を示す。

	認知件数				被害金額			
	令和5年(1-5月)	令和6年(1-5月)	増減		令和5年(1-5月)	令和6年(1-5月)	増減	
			件数	増減率			増減額	増減率
特殊詐欺全体	95	105	+10	+11%	1億4,496万	2億6,292万	+1億5,796万	+150%
オレオレ詐欺	6	9	+3	+50%	1,690万	3,801万	-2,111万	+125%
預貯金詐欺	9	5	-4	-44%	486万	52万	-435万	-89%
架空料金請求詐欺	35	33	-2	-6%	3,016万	6,424万	+3,408万	+113%
融資保証金詐欺	0	0	±0	-	0	0	-	-
還付金詐欺	29	44	+15	+52%	2,714万	6,314万	+3,600万	+133%
キャッシュカード詐欺盗	15	9	-6	-40%	1,430万	574万	-856万	-60%
上記以外	1	5	-4	+400%	1,160万	9,129万	+7,969万	+687%

被害者【年齢別・男女別】(令和5年中)



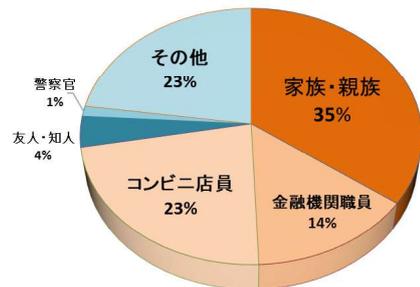
【総評】

- 令和5年は前年と比較して、認知件数は91件(約79.1%)、被害金額は、約2億8,903万円増加した。
- 令和6年5月末現在では、前年同期比で特殊詐欺全体の認知件数は約11%増加し、還付金詐欺、架空料金請求詐欺が被害の中心である。
- 被害者の年齢別男女別では、70歳代・80歳代の女性が突出して多く、男女合わせて、65歳以上の被害が全体の約82.4%を占めた。
- 第三者による未然防止のうち、家族・親族、金融機関職員、コンビニ店員によるものが約72%を占めた。

アポ電等の認知件数

	令和4年	令和5年	R6(1-5月)
アポ電	542	625	328
未然防止	88	154	63
被害認知	115	206	105

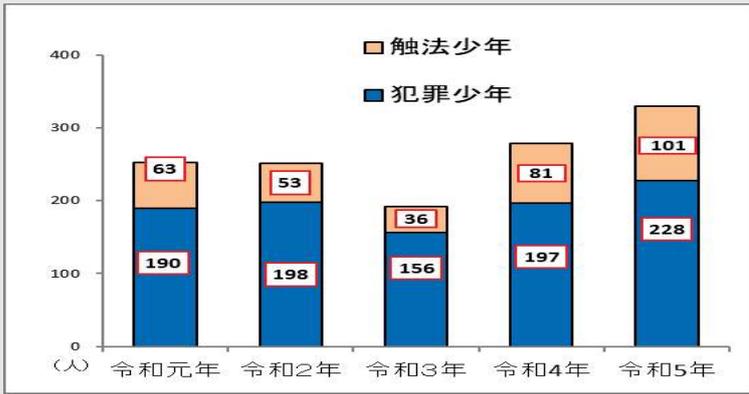
未然防止者(第三者)の内訳(令和5年中)



注) アポ電及び未然防止の件数は、堺市内を管轄する各警察署の報告を基にした件数である。(大阪狭山市を含む。)

堺市内6警察署の少年非行の情勢

刑法犯少年 検挙・補導人員（過去5年）



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
刑法犯少年	253	251	192	278	329
犯罪少年	190	198	156	197	228
触法少年	63	53	36	81	101
少年の占める割合	19.5%	19.2%	15.9%	21.7%	22.1%

- ※ 少年……20歳未満の者
- ※ 犯罪少年…犯罪行為をした14歳以上の少年
- ※ 触法少年…刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年
- ※ 少年の占める割合…刑法犯で検挙(成人を含む)又は補導した人員のうち、少年の占める割合

刑法犯少年 検挙・補導人員（R4とR5の比較）

刑法犯(罪種別)	令和4年	令和5年	前年比
少年総数	278	329	+51
凶悪犯	13	12	-1
殺人	3	1	-2
強盗	4	2	-2
放火	1	5	+4
不同意性交等	5	4	-1
粗暴犯	48	74	+26
暴行	11	23	+12
傷害	30	47	+17
脅迫	6	3	-3
恐喝	1	1	±0
窃盗犯	148	158	+10
自動車盗	1	0	-1
オートバイ盗	24	23	-1
自転車盗	30	21	-9
ひったくり	0	3	+3
車上ねらい	2	12	+10
部品ねらい	9	10	+1
万引き	58	61	+3
その他	24	28	+4
知能犯	2	4	+2
詐欺	2	3	+1
その他	0	1	+1
風俗犯	16	15	-1
その他の刑法犯	51	66	+15
占有離脱物横領	21	12	-9
その他	30	54	+24
特殊詐欺	0	1	+1

刑法犯少年 再非行者数・再非行者率（過去5年）



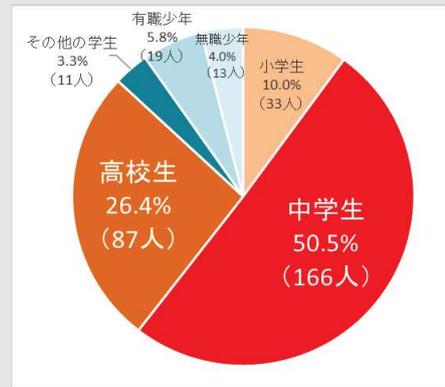
区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
再非行者数	106	106	67	92	99
再非行者率	41.9%	42.2%	34.9%	33.1%	30.1%

- ※ 再非行者率…犯罪少年・触法少年のうち、過去に何らかの非行により、検挙・補導されたことのある少年の割合

【総評(令和5年)】

- 刑法犯少年の検挙・補導人員は329人で、前年より51人(約18.3%)増加した。
- 刑法犯では、凶悪犯、風俗犯はわずかに減少し、その他の罪種は増加した。
- 学職別では、中学生が約50.5%で、全体の約半数を占め、高校生と合わせると約76.9%を占めた。
- 刑法犯少年の再非行者数は99人で、前年比で7人(約7.6%)増加した。
- 特別法犯では、少年の大麻取締法等の薬物事犯は減少し、銃刀法違反等の検挙・補導人員は増加した。

刑法犯少年(学職別) 検挙・補導人員(令和5年中)



特別法犯少年 検挙・補導人員（R4とR5の比較）

特別法犯(罪種別)	令和4年	令和5年	前年比
少年総数	80	89	+9
軽犯罪法	27	39	+12
大麻取締法	21	13	-8
覚醒剤取締法	1	0	-1
銃刀法	1	6	+5
児童買春・児童ポルノ法	12	3	-9
迷惑防止条例	8	12	+4
青少年保護育成条例	2	11	+9
その他	8	5	-3

注) 各統計には、黒山警察署の大阪狭山市が含まれる。